



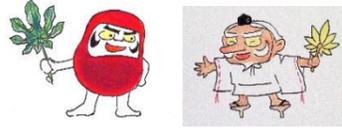
いのちのたび

〒805-0071 北九州市八幡東区東田二丁目4番1号
 Tel 681-1011 Fax 661-7503
 http s : //www.kmnh.jp/
 (発行) 北九州市立いのちのたび博物館ミュージアムティーチャー

早春の暖かさを感じる時期です。学校では卒業式に向けて、あわただしい毎日をお過ごしのことと思います。今年度も遠足や社会見学、体験学習などで多くの学校にご利用いただきました。本当にありがとうございました。来年度もスタッフ一同、皆様のご来館を心よりお待ちしております。

かこさとし×いのちのたび博物館
絵本でたどる いのちのふしぎ

春の特別展



令和7年3月15日(土)～5月6日(火・振休)

『だるまちゃんとなぐちゃん』などの作品で知られる絵本作家かこさとしさん。じつは多くの科学絵本も手がけていることを知っていますか？本展では、かこさとしさんの科学絵本の下絵や複製原画などを、当館所蔵の標本とともに展示し、絵本の中に入り込むような体験をお届けします。



『人間』複製原画



『宇宙進化地球生命変遷放散総合図譜』(複製)



ミュージアムのタネ

官営八幡製鉄所の開業と北九州工業地帯の形成

日本列島では古くから「たたら炉」を使って砂鉄と木炭を原料として鉄を生産し、さらに「こしき炉」を使って鉄の鋳物をつくってきました。江戸時代の終わりに、ヨーロッパやアメリカなど強国の進出を受けて国を守る意識が高まり、大砲の生産が課題となりました。しかし「こしき炉」では鉄を溶かす力が足りないため、「反射炉」が建設されました。さらにそれまでの方法でつくった鉄では大砲の性能に限界があることが分かり、鉄鉱石を使って「高炉」で鉄を生産することが必要となりました。盛岡藩の釜石に高炉が建設され、質が良く量も豊かな北東北地方の鉄鉱石を使って、鉄の生産に成功します。安政4年(1857)12月1日のことで、12月1日は「鉄の日」に指定されています。中心となったのは盛岡藩士の大島高任で、彼は「近代製鉄の父」と呼ばれています。

明治政府は釜石に官営製鉄所を建設しますが、木炭を使う高炉には限界があり廃止されました。釜石では民間で製鉄が続けられ、石炭からつくるコークスを使う高炉に切り換えて、明治27年(1894)に生産に成功します。そのころから鉄の国産化のため新たな官営製鉄所の建設が計画され、日清戦争が終わった次の年、明治29年(1896)に発足し、北九州の八幡に建設されることとなり、明治34年(1901)に開業しました。その際に大島高任の子の大島道太郎が大きな役割を果たしました。官営八幡製鉄所は初め失敗続きでしたが、コークスと高炉を改善して、安定した生産に成功しました。

官営製鉄所が八幡に建設されたのはなぜでしょうか。さまざまな理由がありますが、最も重要なのは製鉄の原料である鉄鉱石と石炭を手に入れやすい土地であったことです。釜石と違い、鉄鉱石の産地は近くにありませんが、日清戦争後に中国の鉄鉱石を輸入できるようになり、それには北九州周辺が最適です。遠賀川上流・中流、旧筑前国と旧豊前国にまたがる「筑豊」が日本有数の石炭の産地でした。石炭は筑豊から遠賀川～堀川・江川を通して船で運ばれていましたが、鉄道が整備され、運ばれるようになりました。さらに石炭を積み出し、鉄鉱石を輸入するため、門司港や若松港が整備されていきます。

官営八幡製鉄所が開業し、鉄道や港など産業基盤が整備されると、関連の会社や工場もその周辺に設立されていきました。こうして門司(大里)から黒崎までの海岸沿いに工場が連なることになり、「北九州工業地帯」が形成されていったのです。



はしのこうろあと 橋野高炉跡(釜石市)



ひがしだいいちこうろまえ 東田第一高炉前(伊藤博文・井上馨来所記念)
 日本製鉄株式会社九州製鉄所提供

れきしかがくげいん ひびのとしのぶ
 歴史課学芸員 日比野利信

先生、ちょっと聞いて!

「教員のための博物館研修」を開催!

期日: 令和7年

7月23日(水)【小学校自然史系】

7月25日(金)【小学校歴史系】

7月30日(水)【中学校理科】

8月1日(金)【市外】

内容: プログラム体験、展示物観覧、学芸員講話、バックヤードツアー 等



研修の様子

新年度に学校へ詳細をお知らせします。お申し込みはQRコードから電子申請となります。

